

令和元年度 森林・林業白書（案）のポイント

林野庁林政部企画課長

1 特集「持続可能な開発目標（SDGs）に貢献する森林・林業・木材産業」について

- ・ SDGs への関心が高まる中、本業に取り込む企業も出てきていること、特に、森林・林業にこれまで関わりのなかった企業から、林業・木材産業関係者との協働や森林空間を活用した新規ビジネス創出への期待が高まっている状況を踏まえ、特集章のテーマとして選定。

これにより、森林・林業・木材産業に関わる SDGs の取組の機運がさらに高まり、広がっていくことを期待。

- ・ 具体的な記述内容は、次のとおり。
 - ・ SDGs と森林・林業・木材産業の関係性を整理し、持続可能な森林経営及び林業・木材産業が SDGs に貢献することを記述（第 1 節）。
 - ・ 林業・木材産業と協働して企業や個人が取り組む様々な動きを、森林の整備、森林資源の利用、森林空間の利用という 3 つの分類を行った上で、具体的に紹介（第 2 節）
 - ・ また、SDGs と森林・木材利用に関わる企業へのアンケートの実施結果について整理（第 3 節）。
 - ・ SDGs の観点から見た林業・木材産業の今後の課題と、企業・個人、教育研究機関、地方自治体、政府といった関係者の役割を整理（第 4 節）。

2 トピックスについて

- ・ トピックスは、この 1 年の森林・林業・木材産業に関する特徴的な動きをいくつか（例年 5 つ程）紹介するもの。施策部会での意見を踏まえ、川上・川中・川下のバランスも考慮しつつ、5 つを設定。
- ・ 森林経営管理法の施行・森林環境譲与税の譲与開始等は、林業・木材産業関係者の関心も非常に高く、また、大きな影響を及ぼす政策のスタートであったことから、冒頭に配置。
- ・ それ以外の事項については、東京オリンピック・パラリンピック競技会場等における木材利用など、今後さらに大切となる需要拡大につながる動きを前の方に配置。
- ・ また、例年通り、「農林水産祭」における受賞者を紹介。

3 通常章について（第Ⅰ章から第Ⅴ章まで）

通常章は、基本的に、例年の構成を踏襲しつつ、関係するデータをアップデートして編集。各章において特に意を用いた点は、それぞれ次のとおり。

（１）第Ⅰ章（森林の整備・保全）

森林経営管理制度や森林環境譲与税の詳細・活用事例等を記述

（２）第Ⅱ章（林業と山村（中山間地域））

造林コストの低減やスマート林業等、林業の低コスト化・効率化に向けた取組等を記述

（３）第Ⅲ章（木材需給・利用と木材産業）

８年連続で上昇した木材自給率、建築やエネルギー分野における木材利用等を記述。新型コロナ感染症への対応についてもコラムで記述

（４）第Ⅳ章（国有林野の管理経営）

国有林における技術開発や民国連携の取組等、林業・木材産業の成長産業化への貢献等を記述

（５）第Ⅴ章（東日本大震災からの復興）

森林の放射性物質対策、きのこの出荷制限等の状況のほか、復興に向けた取組を記述

4 令和２年度森林及び林業施策について

令和２年度の予算、税制措置等を整理して記述